

京都検定 公開テーマよもやま話

第31回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第28回京都検定3級公開テーマ「京都の絵馬」

絵馬に込められた謂れから

社寺を楽しく読み解こう！



塩原 直美
京都観光
アドバイザー

第28回3級の公開テーマは「京都の絵馬」。多くの方に親しまれる授与品の一つです。受験の時、「合格祈願」や「試験合格」と書いて、お願いをした方も多はず。これは「小絵馬」と呼ばれ、各社寺の窓口で授与しているものです。一方、境内の絵馬堂に掲げられた大型のものは「大絵馬」。経年劣化により不鮮明なものも少なくありませんが、「馬」をはじめ、「人物」「文字」等さまざまな図柄が各所で見られます。

絵馬の発祥は貴船神社とされ、本殿脇に「黒」と「白」、二頭の馬の銅像があります。天候に左右され



三嶋神社の絵馬

てきた古の人々の最たる願いは「五穀豊穡」であり、ときに「雨止み」、ときに「雨乞い」を神様に祈願してきました。その際、神様の乗り物とされる馬を水神の貴船神社に奉納し、雨乞いには「黒馬」を、雨止みには「白馬」を用いてきました。しかし、生馬を調達する、受けた社は飼育する、これは双方にとって負担の大きいものでした。そこで考案されたのが「板立馬」という馬を描いた板！これが絵馬の始まりです。

人々のさまざまな願いや感謝、信仰が描かれた大絵馬は、多くの社寺に奉納されるようになり、一時期、有名絵師が描いたもの、算術の問いと解を示した「算額」を奉納するという流行もありました。

そして、「絵馬」と言えば誰しも思い浮かべる五角形の「小絵馬」。社寺ごとの由緒や御神徳、ゆかり等が描かれ、一つの「絵解き」になっている

ものもあります。例えば、ウナギ供養で知られる三嶋神社。夫婦を表す二尾のウナギが描かれる絵馬は、「子授かり」祈願です。一方、三尾描かれる絵馬は、「家族が増えまし」という感謝と御礼の気持ちを表しています。これは御祭神の使者がウナギ(水蛇)であること、また建春門院が三嶋の神に祈願し、高倉天皇をお産みになった御神徳に始まる「子授かり・安産」にちなみます。

小さな枠の中に秘められた信仰やエピソードに魅せられ、私は現在府内だけで約400枚の小絵馬を収集しています。それは、お賽銭に加えて絵馬を受けることで、少しでも京都の社寺の文化財継承につながることを願って…という私なりの恩返しです。皆様も絵馬に込められた謂れを読み取り、楽しく京都の学びに活かしてみてください。

※「京都観光文化検定試験」、「京都検定」およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。

過去問に挑戦！

Q1 第19回3級より

明治維新後に伊勢神宮の分霊を遷して祀ったのを由来とする、現在では萌えキャラの巫女をあしらった御守や絵馬、朱印などを授与して人気の神社はどこか。

- (ア)平安神宮 (イ)梨木神社
- (ウ)京都大神宮 (エ)白峯神社

Q2 第24回3級より

鴨長明にゆかりがあり、美麗祈願の鏡絵馬で知られる下鴨神社の撰社はどこか。

- (ア)大国主社 (イ)河合神社
- (ウ)岡崎神社 (エ)豊国神社

Q3 第23回2級より(一部改変)

かつて泉涌寺の鎮守社でもあったとされる剣神社がある。同社の絵馬には()が描かれ、子どもが描かれ、祈願でも知られる。

- (ア)イノシシ (イ)トビウオ
- (ウ)ウサギ (エ)キツネ



▲京都検定の詳細はこちら
または

京都検定

01 (ウ) 京都大神宮
02 (イ) 河合神社
03 (イ) 泉涌寺

※京都検定では「公開テーマ」に関する問題が各級10問出題されます。